

課題解決型高度医療人材養成プログラム

健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム

平成 30 年度

教育要項

H30年度 各大学 コア科目実施日

日 程		授業題目	授業種別	大学名	担当教員
11月30日(金)	13:30-16:30	長寿を支える硬組織バイオロジー	コア科目	東医歯大	中島・井関
10月16日(火)	8:50-10:20	異分野融合型先端歯学・歯科医療	コア科目	東北大	佐々木
10月23日(火)	8:50-10:20	異分野融合型先端歯学・歯科医療	コア科目	東北大	高橋
1月25日(金)	13:30-16:30	摂食嚥下のメカニズム	コア科目	新潟大	井上
10/5,12,19,26(木)	3限	テイラード・コミュニケーション概論	コア科目	東歯大	平田
e-learning		地域連携と摂食支援②	コア科目	日歯大	菊谷

H30年度 各大学 授業日程

【東京医科歯科大学 長寿口腔健康科学コース】

コア科目・大学別科目 授業日程

日 程		授業題目	授業種別	大学名	担当教員
11月30日(金)	13:30-16:30	長寿を支える硬組織バイオロジー	コア科目	東医歯大	中島・井関
12月7日(金)	13:30-16:30	地域包括ケアシステム論	独自科目	東医歯大	東大・飯島
12月15日(金)	13:30-16:30	異分野融合型先端歯学・歯科医療	コア科目	東北大	東北大講師
1月11日(金)	13:30-16:30	テイラード・コミュニケーション概論	コア科目	東歯大	東歯大講師
1月18日(金)	13:30-16:30	地域連携と摂食支援	コア科目	日歯大	日歯大講師
1月25日(金)	13:30-16:30	摂食嚥下のメカニズム	コア科目	新潟大	新潟大講師
2月1日(金)	13:30-16:30	在宅における摂食嚥下評価①	独自科目	東医歯大	戸原
2月8日(金)	13:30-16:30	在宅における摂食嚥下評価②	独自科目	東医歯大	戸原
2月22日(金)	13:30-16:30	健康長寿の医療政策学・経済学	独自科目	東医歯大	川淵
3月1日(金)	13:30-16:30	アドバンス病態科学	独自科目	東医歯大	大渡

【東北大学 異分野連携イノベティブ歯学展開コース コア科目4年生、独自科目5年生】

コア科目・大学別科目 授業日程

日 程		授業題目	授業種別	大学名	担当教員
6月6日(水)	13:00-16:10	歯学発の医療機器・技術イノベーション	独自科目	東北大	佐々木・鈴木・塩飽・高田
6月13日(水)	13:00-16:10	口腔から始まる再生医療	独自科目	東北大	福本・江草
6月27日(水)	13:00-16:10	口腔が支える食と健康	独自科目	東北大	若森・庄司・高橋・服部・西川(宮城大学)
7月4日(水)	13:00-16:10	異業種連携で進化する口腔ケア・リハビリテーション	独自科目	東北大	小関・服部
7月11日(水)	13:00-16:10	社会と医療を繋ぐ歯科情報倫理	独自科目	東北大	小坂・鈴木
10月16日(火)	8:50-10:20	異分野融合型先端歯学・歯科医療	コア科目	東北大	佐々木
10月23日(火)	8:50-10:20	異分野融合型先端歯学・歯科医療	コア科目	東北大	高橋
10月30日(火)	8:50-10:20	摂食嚥下のメカニズム①	コア科目	新潟大	新潟大講師
11月6日(火)	8:50-10:20	摂食嚥下のメカニズム②	コア科目	新潟大	新潟大講師
11月20日(火)	8:50-10:20	地域連携と摂食支援①	コア科目	日歯大	日歯大講師
11月27日(火)	8:50-10:20	地域連携と摂食支援②	コア科目	日歯大	日歯大講師
12月4日(火)	8:50-10:20	テイラード・コミュニケーション概論①	コア科目	東歯大	東歯大講師
12月11日(火)	8:50-10:20	テイラード・コミュニケーション概論②	コア科目	東歯大	東歯大講師
12月18日(火)	8:50-10:20	長寿を支える硬組織バイオロジー①	コア科目	東医歯大	東医歯大講師
1月8日(火)	8:50-10:20	長寿を支える硬組織バイオロジー②	コア科目	東医歯大	東医歯大講師

【新潟大学 口腔機能管理学コース】

コア科目・大学別科目 授業日程

日 程		授業題目	授業種別	大学名	担当教員
10月9日(火)	16:25-17:55	ガイダンス、口腔リハビリテーション①	独自科目	新潟大	前田・井上
10月16日(火)	16:25-17:55	口腔リハビリテーション②	独自科目	新潟大	井上
10月23日(火)	16:25-17:55	口腔機能の変化とその対応①	独自科目	新潟大	山村
10月29日(月)	16:25-17:55	地域連携と摂食支援	コア科目	日歯大	日歯大講師
10月30日(火)	16:25-17:55	口腔機能の変化とその対応②	独自科目	新潟大	山村
11月6日(火)	16:25-17:55	地域包括ケアと多職種連携①	独自科目	新潟大	大内
11月13日(火)	16:25-17:55	地域包括ケアと多職種連携②	独自科目	新潟大	大内
11月20日(火)	16:25-17:55	口腔環境の変化と口腔・全身健康の維持管理①	独自科目	新潟大	寺尾
11月27日(火)	16:25-17:55	口腔環境の変化と口腔・全身健康の維持管理②	独自科目	新潟大	寺尾
12月4日(火)	16:25-17:55	成長過程にある口腔機能の発達とその管理①	独自科目	新潟大	早崎
12月11日(火)	16:25-17:55	成長過程にある口腔機能の発達とその管理②	独自科目	新潟大	早崎
1月8日(火)	16:25-17:55	長寿を支える硬組織バイオロジー	コア科目	東医歯大	東医歯大講師
1月15日(火)	16:25-17:55	異分野融合型先端歯学・歯科医療	コア科目	東北大	東北大講師
1月22日(火)	16:25-17:55	ティラード・コミュニケーション概論	コア科目	東歯大	東歯大講師
1月25日(金)	13:30-16:30	摂食嚥下のメカニズム	コア科目	新潟大	井上
2月5日(火)	16:25-17:55	試験	独自科目	新潟大	小野 平原
2月12日(火)	16:25-17:55	試験(予備)	独自科目	新潟大	小野 平原

【日本歯科大学 地域連携・在宅医療概論・2年生】

コア科目・大学別科目 授業日程

日 程		授業題目	授業種別	大学名	担当教員
9月18日(火)	14:35-15:55	地域連携の概要	独自科目	日歯大	有友
9月25日(火)	14:35-15:55	在宅医療の概要	独自科目	日歯大	有友
10月2日(火)	14:35-15:55	附属病院における在宅歯科医療活動	独自科目	日歯大	町田
10月9日(火)	14:35-15:55	口腔リハビリテーション多摩クリニックの活動(1)	独自科目	日歯大	菊谷
10月16日(火)	14:35-15:55	口腔リハビリテーション多摩クリニックの活動(2)	独自科目	日歯大	菊谷
10月23日(火)	14:35-15:55	口腔リハビリテーション多摩クリニックの活動(3)	独自科目	日歯大	田村
12月18日(火)	14:35-15:55	地域連携・在宅医療に必要な知識	独自科目	日歯大	羽村
1月29日(火)	14:35-15:55	地域連携・在宅医療概論のまとめ	独自科目	日歯大	羽村

【日本歯科大学 地域連携ケアコース・5年生】

コア科目・大学別科目 授業日程 全てe-learning

日 程		授業題目	授業種別	大学名	担当教員
5月7日(月)~5月18日(金)		異分野融合型先端歯学・歯科医療	コア科目	東北大	羽村
5月21日(月)~5月31日(木)		長寿を支える硬組織バイオロジー	コア科目	東医歯大	羽村
6月4日(月)~6月15日(金)		摂食嚥下のメカニズム	コア科目	新潟大	羽村
6月18日(月)~6月29日(金)		ティラード・コミュニケーション概論	コア科目	東歯大	羽村
9月10日(月)~9月21日(金)		多職種共同に必要なコミュニケーション	独自科目	日歯大	有友
9月25日(火)~10月5日(金)		摂食機能の発達と障害	独自科目	日歯大	町田
10月9日(火)~10月19日(金)		栄養の評価と指導	独自科目	日歯大	須田
10月22日(月)~11月2日(金)		地域連携と摂食支援①	コア科目	日歯大	高橋
11月12日(月)~11月22日(木)		地域連携と摂食支援②	コア科目	日歯大	菊谷

【東京歯科大学 地域社会に学ぶ新たな歯科医療プロフェッショナルコース】

コア科目・大学別科目 授業日程

日 程		授業題目	授業種別	大学名	担当教員
12月12日(火)	4限	長寿を支える硬組織<第2学年>	コア科目	東医歯大	東医歯大講師
10月5日(木)	3限	テイラード・コミュニケーション概論<第3学年>	コア科目	東歯大	平田
10月12日(木)	3限	テイラード・コミュニケーション概論<第3学年>	コア科目	東歯大	平田
10月19日(木)	3限	テイラード・コミュニケーション概論<第3学年>	コア科目	東歯大	平田
10月26日(木)	3限	テイラード・コミュニケーション概論<第3学年>	コア科目	東歯大	平田
11月27日(月)	5限	摂食嚥下のメカニズム<第3学年>	コア科目	新潟大	新潟大講師
1月12日(金)	5限	地域連携と摂食支援<第4学年>	コア科目	日歯大	日歯大講師
1月19日(金)	3~5限	実践コミュニケーションと臨床倫理①<第4学年>	独自科目	東歯大	平田、橋本
11月20日(月)	1~2限	実践コミュニケーションと臨床倫理②<第4学年>	独自科目	東歯大	平田、橋本
4月10日(月)	5限	内科症候学①<第4学年>	独自科目	東歯大	西田、林、寺嶋、鈴木、野村
4/15~9/22	期間中3時間	内科症候学②(全3回)<第5学年>	独自科目	東歯大	西田、林、寺嶋、鈴木、野村
11/17、12/1(金)	3限	口腔機能と生体制御①<第4学年>	独自科目	東歯大	石田、野村
4/15~3/6	期間中3時間	口腔機能と生体制御②(全3回)<第5学年>	独自科目	東歯大	石田、野村
9/25~3/6	期間中3時間	臨床社会歯科学(全3回)<第5学年>	独自科目	東歯大	平田、眞木
4/15~3/6	期間中3時間	歯科患者の全身異常と初期救急対応(全3回)<第5学年>	独自科目	東歯大	一戸、野村、鈴木
3月13日(火)	1限	異分野融合型先端歯学・歯科医療<第5学年>	コア科目	東北大	東北大講師

科 目 名：健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム

【目的、概要等】

本プログラムは、歯学教育分野で先導的な役割を果たしてきた5大学（東京医科歯科大学、東北大学、新潟大学、東京歯科大学、日本歯科大学）が国立私立の枠を超えてコンソーシアムを形成し、各大学の強みである教育資源を共有・補完することで、健康長寿を育む為のあらゆるライフステージに対応した全人的歯科医療を担う人材養成の実現を目指すものである。具体的には、各大学が個性を生かした学部学生対象コースを新設し、教育コンテンツを開発、e-learningや教員の相互乗り入れにより、シームレス且つボーダレスな共同利用を行う。各大学のコースはコア科目及び大学独自科目により構成される。コア科目は各大学の個性が最も生かされた科目であり、5大学の学生が必ず受講する。

<各大学のコース>

東京医科歯科大学	長寿口腔健康科学コース
新潟大学	口腔機能管理学コース
東北大学	異分野連携イノベティブ歯学展開コース
東京歯科大学	地域社会に学ぶ新たな歯科医療プロフェッショナルコース
日本歯科大学	地域連携ケアコース

【学習の到達目標】

■ コア科目

【1】長寿を支える硬組織バイオロジー（東京医科歯科大学） 担当：中島友紀、井関祥子

- 1) 骨構成細胞（破骨細胞、骨芽細胞、骨細胞）の役割と機能を説明できる
- 2) ロコモティブ症候群と治療法を説明できる
- 3) 骨発生と遺伝子疾患の分子メカニズムが説明できる

【2】摂食嚥下のメカニズム（新潟大学） 担当：井上 誠

- 1) 摂食運動に関わる諸器官の構造と機能を説明する
- 2) 咀嚼と嚥下運動の機能意義を説明する

【3】異分野融合型先端歯学・歯科医療（東北大学） 担当：佐々木啓一、高橋信博

- 1) 異分野融合型の歯学について説明できる
- 2) 先端歯科医療について説明できる
- 3) 将来の歯学・歯科医療のあり方について、自ら具体的に考察できる
- 4) 将来の歯学・歯科医療の変革や改善について、積極的に取り組む姿勢を持つ

【4】ティラード・コミュニケーション概論（東京歯科大学） 担当：平田創一郎

- 1) 医療面接を説明する
- 2) コミュニケーション技法・カウンセリング技法を説明する
- 3) ラポール形成に必要な態度を説明する

【5】地域連携と摂食支援（日本歯科大学） 担当：菊谷 武

- 1) 在宅療養患者における特徴を述べる
- 2) 在宅診療の留意点を記述する
- 3) 摂食支援の実際を知る
- 4) 摂食嚥下機能の評価方法を説明する
- 5) 摂食嚥下機能の精密検査法を述べ
- 6) 摂食機能療法の計画・立案を説明する

科 目 名：長寿口腔健康科学コース（東京医科歯科大学）

担 当 教 員：興地隆史、森尾郁子、荒木孝二、水口俊介、木下淳博、戸原 玄、濱 洋平

対 象 学 部 等：歯学部歯学科5年生

【目的、概要等】

本コースは、医学と歯学の総合医療大学という強みを生かし、医歯学融合教育を軸とした幅広い年齢層への健康長寿に対する先進的研究開発、教育の面からのアプローチができる人材及び地域医療の中で、多職種連携を主導することができる人材養成を目標としている。

【学習の到達目標】

■ 東京医科歯科大学独自科目

【1】地域包括ケアシステム論 担当：飯島勝矢

- 1) 我が国の高齢者医療を取り巻く背景と、国の推し進める『地域包括ケアシステム』を理解する
- 2) 従来の「治す医療」から『治し支える医療』という原点の理解： その象徴的存在である在宅医療の意義と歯科の関わりを理解する
- 3) 「病人である前に『生活者』なのである」という理念の下に、住み慣れた街全体で生から死までを地域全体で支え、みて（診て・看て）いくという地域完結型の医療への進化を理解する
- 4) 新たな大学－地域間連携を構築しながら、地域医療にも視野を広げられる若手医療人の養成・早期医学教育にも触れる
- 5) より早期からの虚弱予防戦略を早期の段階から学ぶ：特に『オーラル・フレイル（口腔機能の虚弱化）』から再考する

【2】在宅における摂食嚥下評価1.2 担当：戸原 玄

- 1) 摂食嚥下障害のアセスメントを覚える
- 2) 摂食嚥下障害のスクリーニングテストができる
- 3) 摂食嚥下障害患者への対応を考えることができる

【3】健康長寿の医療政策学・経済学 担当：川淵孝一

- 1) 超高齢社会の問題点を概説できる
- 2) 平均寿命と健康寿命との差が拡大していることを説明できる
- 3) 国家財政の圧迫と国力の低下について概説できる
- 4) 医療費や介護給付費等の社会保障負担の増大を説明できる
- 5) 長寿社会における解決策を政策提言できる

【4】アドバンス病態科学 担当：大渡凡人

- 1) 歯科医療における(歯科領域以外の)臨床医学的知識の必要性を説明できる。
- 2) 臨床的重要性が高い全身疾患の病態について説明できる。
- 3) 臨床検査データの意味を理解し、その結果から各全身疾患の個体レベルでの評価ができる。
- 4) 有病高齢者の安全な観血的歯科治療を行うためのリスク管理について正確な医学的知識を背景に立案できる。

科 目 名：口腔機能管理学コース（新潟大学）

担 当 教 員：前田健康、寺尾 豊、山村健介、早崎治明、井上 誠、大内章嗣、岩瀬陽子、平原三貴子

対 象 学 部 等：歯学部歯学科5年生

【目的、概要等】

本コースは地域包括ケアを理解し、多職種連携・地域協働により活躍できる歯科医療人材、摂食機能のリハビリテーションを通して、摂食と嚥下機能の連関を理解し、地域社会で食機能支援ができる人材の養成を目標としている。

【学習の到達目標】

■ 新潟大学独自科目

【1】口腔環境の変化と口腔・全身健康の維持管理 担当：寺尾 豊

- 1) 健康長寿社会の実現を妨げる、口腔と全身に関連する感染症を説明する。
- 2) 多職種連携による口腔健康の維持管理について説明する。

【2】口腔機能の変化とその対応 担当：山村健介

- 1) フレイルの概念と予防法を説明する。
- 2) 加齢に伴う口腔の感覚・運動機能の変化を説明する。
- 3) 口腔機能の評価法と意義、およびその内容を説明する。

【3】成長過程にある口腔機能の発達とその管理 担当：早崎治明

- 1) 哺乳・離乳から咀嚼へのステップを説明する。
- 2) 乳歯列期の顎口腔機能の特徴を説明する。
- 3) 顎口腔機能の正常な発達を妨げる要因とその対処を説明する。

【4】口腔リハビリテーション 担当：井上 誠

- 1) 口腔機能や摂食嚥下機能に障害をもたらす疾患を列举し、その病態像を説明する。
- 2) 摂食嚥下機能に関わる種々の検査法とその内容を説明する。
- 3) 口腔機能や摂食嚥下機能の障害に関する診断にもとづいて適切な治療を選択する。

【5】地域包括ケアと多職種連携 担当：大内章嗣

- 1) 地域包括ケアの概念とそのなかで歯科専門職が果たすべき役割を説明する。
- 2) 地域包括ケアに関わる職種や関係機関の役割を説明する。
- 3) 要介護者の生活支援の観点からの多職種協働のプロセスを説明する。

科 目 名：異分野連携イノベティブ歯学展開コース（東北大学）

担 当 教 員：佐々木啓一、高橋信博、真柳 弦

対 象 学 部 等：歯学部歯学科4年生

【目的、概要等】

本コースは、医学、工学、栄養学、農学、社会科学等、異分野領域と連携して次世代型の歯学を創出できる人材、広範な学問分野の融合知と高い倫理観をもって歯科医療に取り組める高度医療人としての資質を備える人材養成を目標としている。

【学習の到達目標】

■ 東北大学独自科目

【1】歯学発の医療機器・技術イノベーション 担当：佐々木啓一

- 1) 歯科医療に応用可能な生体材料、医療機器に求められる諸性質ならびにその臨床応用に向けて必要な研究ならびに承認申請等について理解する
- 2) 医歯用生体材料に求められる性質ならびにその応用について説明する
- 3) 歯科医療機器の開発とその応用について考える

【2】口腔から始まる再生医療 担当：福本 敏

- 1) 幹細胞研究やバイオテクノロジーの進展をふまえたこれからの歯科医学に必要な再生医療の基礎知識を説明する
- 2) 歯の発生から考えた再生医学を説明する
- 3) 幹細胞を用いた骨の再生医療を説明する

【3】口腔が支える食と健康 担当：若森 実

- 1) 歯学・食品学・栄養学などの最新の臨床および研究を学ぶ
- 2) 歯学・食品学・栄養学の観点から健康の入り口となる口腔について考察する
- 3) 5基本味の受容体とその修飾について説明する
- 4) 味覚障害に対する口腔内科的診断と治療について説明する
- 5) 口腔保健用機能性食品について説明する
- 6) 日本型食生活の秘密について説明する

【4】異業種連携で進化する口腔ケア・リハビリテーション 担当：小関健由

- 1) 口腔のケア・リハビリテーションにおいて、歯科医療専門職種が医療・介護・福祉など他領域の専門職種と連携を行う必要性を説明する
- 2) 医科歯科連携の展開として、医科診療患者の口腔機能管理の重要性と多職種連携による患者中心の医療を説明する
- 3) 介護高齢者の口腔衛生管理や口腔機能の維持向上に際し、必要とされる他職種連携について説明する

【5】社会と医療を繋ぐ歯科情報倫理 担当：小坂 健

- 1) 社会との関わりの中での歯科医療・口腔科学の役割について、地域包括ケアシステムや災害医療における対応を含めて理解し、説明する
- 2) 地域包括ケアシステムにおける介護医療連携の中で、歯科がどのような役割を担うべきか概略を説明する
- 3) 規模災害対応における歯科の役割について、身元確認を教材としたデータベースの構築や ICT を用いたデータマネジメントについて説明する

科 目 名：地域社会に学ぶ新たな歯科医療プロフェッショナルコース（東京歯科大学）

担 当 教 員：平田創一郎

対 象 学 部 等：歯学部歯学科3-5年生

【目的、概要等】

本コースは、様々な幅広い医学的・社会的知識を持ち、最適な歯科医療を提供し生活の質の向上を図ることができる人材、口腔機能の維持と管理を啓発し地域の保健活動に貢献できる人材、生活習慣病をはじめとした common disease の知識を有し、的確に患者の全身状態を評価して安心・安全な歯科医療を提供できる人材の養成を目標としている。

【学習の到達目標】

■ 東京歯科大学独自科目

【1】実践コミュニケーションと臨床倫理 担当：平田創一郎、橋本正次

「医療面接」

- 1) 医療面接を説明できる
- 2) カウンセリング技法を説明できる
- 3) ラポール形成ができる
- 4) 初診時の医療面接を実践する
- 5) 患者の気持ちに共感する
- 6) 推定診断を行うために必要な聴取事項を抽出できる
- 7) 患者の理解を得られる説明ができる

「医療倫理」

- 1) 臨床倫理の考え方を説明する
- 2) 患者の選好について検討する
- 3) 患者のQOLについて検討する
- 4) 患者の周囲の状況について検討する
- 5) 患者の医学的適応について検討する
- 6) 症例について臨床倫理の4分割法を用いて検討する。

【2】内科症候群 担当：西田次郎、林 晃一、寺嶋 毅、鈴木 昌、野村武史

内科学、内科医療、加齢・老年病学および下記の各分野の病態生理・疾患を理解し概説できる

1. 脳神経、2. 循環器、3. 呼吸器、4. 消化器、5. 腎・泌尿器、6. 内分泌、7. 代謝・糖尿病、8. 血液、9. 感染、10. アレルギー・免疫、11. 救急

【3】口腔機能と生体防御 担当：石田 瞭、野村武史

- 1) 摂食嚥下機能の健全な発達と老化の過程について説明する
- 2) 摂食嚥下障害の概念と主な原因を説明する
- 3) 摂食嚥下障害の診断に必要な診察および検査項目を説明する
- 4) 摂食嚥下リハビリテーション、栄養療法について説明する
- 5) 摂食嚥下障害の補綴歯科の対応について説明する
- 6) 口腔外科に関わる摂食嚥下障害について説明する
- 7) 摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科医師と他職種との連携について説明する
- 8) 歯科訪問診療の特徴を説明する
- 9) 歯科訪問診療の対象者と診療方法を説明する
- 10) 歯科訪問診療時に発生する全身偶発症とその対応を説明する
- 11) 歯科訪問診療における地域連携の流れについて説明する

【4】臨床社会歯科学 担当：平田創一郎、眞木吉信

- 1) 医事法制について説明する
- 2) 医療関連職種について説明する
- 3) 地域医療連携・チーム医療について説明する
- 4) 診療記録・診療情報について説明する
- 5) 科学的根拠に基づく診療ガイドラインについて概説する
- 6) 薬事衛生法規について説明する
- 7) 保健衛生法規について説明する
- 8) 予防衛生法規について説明する
- 9) 医の倫理・患者の権利について概説する
- 10) 社会における歯科医師の役割について概説する

【5】 歯科患者の全身異常と初期救急対応 担当：一戸達也、野村武史、鈴木 昌

- 1) 意識障害のレベルを評価できる。
- 2) 心停止の徴候を説明できる。
- 3) Basic Life Support (BLS)と Advanced Life Support (ALS)の違いを説明できる。
- 4) 気道確保の方法を説明できる。
- 5) 胸骨圧迫の方法を説明できる。
- 6) 人工呼吸の方法を説明できる。
- 7) 除細動の方法を説明できる。
- 8) おもな救急薬品の適応を説明できる。

科 目 名：地域連携ケアコース（日本歯科大学）

担 当 教 員：羽村 章、菊谷 武、須田牧夫、高橋賢晃、町田麗子、有友たかね

対 象 学 部 等：生命歯学部2年生、5年生

【目的、概要等】

本コースは、医療・介護・福祉の有機的な連携に基づく地域包括ケアシステムを構築できる人材、リハビリテーション医学に関する知識や口腔機能に影響を及ぼす様々な疾患に関する知識のある人材、要介護者への食生活への支援を通じ、人間としての尊厳を保つための援助である生活支援や人生支援ができる人材養成を目標としている。なお、本コースはe-learningシステムを用いて、学生は各自聴講することとする。

【学習の到達目標】

■ 日本歯科大学独自科目

【1】地域連携の概要 担当：有友たかね

- 1) 地域包括ケアを説明する
- 2) 地域における各種連携を説明する
- 3) 多職種連携について説明する

【2】在宅医療の概要 担当：有友たかね

- 1) 在宅療養の原因について説明する
- 2) 在宅患者の特徴を述べる
- 3) 在宅歯科診療の特徴について説明する

【3】附属病院における在宅歯科医療活動 担当：町田麗子

- 1) 歯科教育機関における歯科訪問診療について説明する
- 2) 附属病院の機能を説明する
- 3) 附属病院における在宅歯科医療活動を説明する

【4】口腔リハビリテーション多摩クリニックの活動 担当：菊谷 武、田村文誉

- 1) 要介護高齢者について説明する
- 2) 高齢者の摂食嚥下機能障害について述べる
- 3) 多職種連携の実際を述べる
- 4) 地域連携の留意点を説明する
- 5) 在宅療養小児患者について説明する
- 6) 発達期の摂食嚥下障害について述べる
- 7) 口腔リハビリテーション多摩クリニックの活動について説明する

【5】地域連携・在宅医療に必要な知識 担当：羽村 章

- 1) 地域連携について説明する
- 2) 在宅医療について説明する

【6】地域連携・在宅医療概論のまとめ 担当：羽村 章

- 1) 学習内容を整理・再確認し、問題解決に対応できる知識を習得する
- 2) 居住する地域の中で自分らしい生活を送るために必要な支援体制を述べる
- 3) 在宅における歯科医療を列記する
- 4) 地域における医療・福祉・保健などの実際を述べる

【7】多職種協働に必要なコミュニケーション 担当：有友たかね

- 1) 高齢者に対する保健、医療の制度について述べる
- 2) 福祉、介護における各職種の役割を述べる
- 3) 地域歯科保健での各職種の連携の必要性を説明する
- 4) 情報共有の在り方を習得する

【8】摂食機能の発達と障害 担当：町田麗子

- 1) 摂食嚥下に関する解剖学的・生理学的基礎知識について、小児と成人の違いを比較する
- 2) 摂食嚥下機能の発達について述べる
- 3) 摂食嚥下機能の原因について分類する
- 4) 摂食嚥下機能の疾患別特徴と症状について説明する

【9】 栄養の評価と指導 担当：須田牧夫

- 1) 高齢者の栄養状態を述べる。
- 2) 咀嚼機能・嚥下障害・栄養状態の関連を述べる。
- 3) 高齢者の栄養管理の方法を述べる。

【10】 地域連携と摂食支援 担当：高橋賢晃

- 1) 在宅療養患者における特徴を述べる
- 2) 在宅診療の留意点を記述する
- 3) 摂食支援の実際を知る
- 4) 摂食嚥下機能の評価方法を説明する
- 5) 摂食嚥下機能の精密検査法を述べる
- 6) 摂食機能療法の計画・立案を説明する